

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年4月19日(金) 午前11時00分 ~ 午前11時50分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	吉野部長 清水次長 渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 令和6年度戸田市外部評価について (2) その他
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 戸田市外部評価委員会委員名簿 【資料2】 戸田市外部評価実施手引(令和6年度版) 【資料3】 外部評価シート・施策評価シート・事務事業評価シート(様式) 【資料4】 外部評価実施施策一覧 【資料5】 外部評価対象施策の回答スケジュールについて 【参考資料1】 戸田市外部評価委員会条例及び実施要領 【参考資料2】 令和5年度戸田市行政評価報告書 【参考資料3】 令和5年度当初予算の概要 【冊子】 戸田市第5次総合振興計画(新任委員のみに配付)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市長	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付 市長から委嘱状を交付</p> <p>3 市長挨拶 委員の皆様には、外部評価委員会の委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。 本委員会は、年間8回の開催を予定しており、皆様には、多大な御負担をお掛けすることとなるが、本市が目指す将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」の実現に向けて、総合振興計画の7つの基本目標を達成すべく、それぞれの立場や経験から、御指摘等を含めた忌憚ない御意見をいただき、事業の改善や予算確保の手がかりとしたいと考えている。将来の戸田市の発展のため、御協力をお願いしたい。</p> <p>4 委員自己紹介 各委員から自己紹介</p> <p>5 委員長及び副委員長の選出 宮崎委員から事務局に一任する旨の御発言があり、他の委員からの異議が無かったことから、事務局から、佐藤委員を委員長、長野委員を副委員長に選出する案を示し、全委員の同意を得た。</p>
委員長	<p>6 委員長挨拶 戸田市の外部評価委員を務め、今年で14年目となる。就任に当たり、2点お話をさせていただく。 1点目は外部評価委員が担う役割についてである。 自治体の外部評価委員会は戸田市のみに設置されているものではなく、全国の半数以上の自治体で設置されていることが分かっている。 今回、私たちが担当するのが外部評価であり、行政職員が行うものを内部</p>

評価という。内部評価は、自治体の業務担当課が自ら行っている施策や事業を自己評価する仕組みであり、この自治体自らによる内部評価が妥当であるかを判断するための第三者的な視点を担うのが、外部評価委員としての役割である。

全国的にみると外部評価の形態は様々であり、評価の対象、頻度、タイミング、基準、方法、委員会の構成メンバーが異なるものがある。

戸田市の外部評価委員会は、専門的知識を有し中立的な立場で評価を行う識者と市のことを良く知る市民が混成となっている。

外部評価委員会の委員となると、難しいことや高尚なことを発言しなければと思うかもしれないが、そうではなく、これまでの戸田市のサービスの利用者としての視点や、まちづくりのパートナーとしての視点、民間での職務の経験等、それぞれの立場や経験から忌憚のない発言をいただくものである。

2点目は、施策評価に用いられるロジックモデルについてである。

ロジックモデルを一言で言うと、施策における目的と手段を可視化したものであり、施策評価を行う上で必要不可欠な施策の設計図である。すでに政府や埼玉県においても用いられており、戸田市では令和4年度から外部評価委員会の場でもロジックモデルを活用した議論によって、評価を行っている。

戸田市の外部評価委員会は、市民と行政が協働で、事業の検証や見直しを実施し、新たな方向性を見出していく場であり、皆さんの協力が欠かせないと考えているため、御協力をお願いします。

## 7 議 事

### (1) 令和6年度戸田市外部評価について

資料2 戸田市外部評価実施手引（令和6年度版）に基づき、事務局が説明を行った上で、次のとおり質疑応答を行った。

委員

本庁舎2階のスロープ玄関の工事を行っていると思うが、この工事に対する外部評価は行ったのか。

事務局

外部評価は行っていない。

	<p>総合振興計画の中に推進すべき32の施策があるが、本庁舎管理・改修等は、管理的な側面を持つ事業であり、32の施策に含まれず、評価対象でない計画推進のための基本的な「考え方」という分野に位置づけられているためである。</p>
委員長	<p>その他に意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>(2) その他</p> <p>外部評価の対象施策の選定方法について連絡する。対象施策については、1年度につき6施策としている。まず、市民委員のお二人に6施策ずつを選定いただき、次に、市民委員以外の委員の皆様にも、市民委員が選定した最大12施策の中から施策を3つ選定いただく。その後、事務局において、選定数の多さ等により選別を行い、委員会選定分の3施策（案）として、第2回委員会で示す予定である。</p> <p>また、外部評価の対象施策を1年度につき6施策としているため、令和4年度から令和11年度までの8年度で、合計48施策を評価する流れである。施策数は32であるため、16の施策は、2度、外部評価の対象施策となるが、評価結果が施策の取組に反映され、効果が現れるまで、一定の年度を要することや、32の施策全てについて、評価結果を施策に反映していく必要があることから、今年度は、可能な限り、これまで選定されていない施策を中心に評価していただけると幸いである。</p>
委員長	<p>何か質問はあるか。</p>
委員	<p>資料4にて、令和4年度及び令和5年度に実施した施策一覧の記載があるが、過去評価されていない施策を中心にとということで、過去2年分のデータのみで十分なのか。</p>
事務局	<p>令和4年度及び令和5年度のデータのみで十分と考えている。</p> <p>令和3年度以前の評価は、第4次総合振興計画時代の施策数が90であっ</p>

	<p>たときのものであるため、第5次総合振興計画の施策数が32となった後に評価された分としては、2年分のデータのみとなる。</p>
<p>委員</p>	<p>第4次総合振興計画にて評価を行った90施策のうち、過去にどの施策が評価されたか分かる関連資料も提供いただけると助かる。</p> <p>第5次総合振興計画の32施策と似ている施策もあると思うので、元の90施策のうちどれが評価済みか分かると施策選定の助けになると考えているが、いかがか。</p>
<p>委員長</p>	<p>昨年度も、過去の総合振興計画における施策に関する質問があった中で、第4次総合振興計画の際の外部評価をまとめた資料も提出いただいた経緯があり、事務局からの資料提出は可能と考える。</p> <p>ただ、第4次総合振興計画の90の施策を第5次総合振興計画では32に統合等しているため、対応関係が明確であれば、過去の議事録等も参考になると考える。</p>
<p>委員</p>	<p>そういった経緯であれば、市民委員のお二人に興味がある分野の施策を選定いただいた上で、過去の評価対象施策の再選定の調整や資料の提供について、事務局で対応することが一番効率的であると分かったため、資料の提供は不要である。</p>
<p>委員</p>	<p>評価を行う6施策を選定する上で、資料4「外部評価実施施策一覧」を提供いただいたが、担当課及び関係課の関係を把握したく、可能であれば行政組織図等、それぞれの関係性が分かるような資料を提供してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>提供させていただく。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他に意見や質問等はあるか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>なし</p>
<p>8 連絡事項</p>	

事務局	第2回外部評価委員会は、5月17日（金）の午前10時から501会議室にて行う。  9 閉 会
-----	--

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年5月17日(金) 午前10時00分 ~ 午前11時30分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 戸田市第5次総合振興計画について (2) 各評価シートについて (3) 令和6年度戸田市外部評価ヒアリング対象施策の選定について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 第5次総合振興計画について 【資料2】 施策評価シート及び事務事業評価シート 【資料3】 外部評価シート 【資料4】 ロジック・モデルについて 【資料5】 令和6年度評価対象施策の候補施策一覧 【参考資料1】 第5次総合振興計画(概要版) 【参考資料2】 戸田市第5次総合振興計画前期基本計画実施計画(R5~R7)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開 会  2 議 事 (1) 戸田市第5次総合振興計画について 資料1に基づき、説明を行った。
委員	戸田市の人口推計、将来推計について、他市も令和20年頃から人口減少を想定し、計画を作成しているところが多いが、その減少幅が他市よりも比較的緩やかなのが見てとれる。  何か戸田市の特徴により、人口推計の減少幅が小さいということがあれば教えてほしい。
事務局	地理的な面では、都内近郊ということもあり、通勤や通学等において利便性が高いため、若い年齢層の方が多くいらっしゃる。  それだけ新しい人口が増えるということに繋がる。  その点で人口展望のカーブは他市と比較し、緩やかになっていると考えている。
委員	地理的な要因が大きく、若い層の人材流入が多いといった点も考慮し、外部評価に臨む。
委員	この数年間で、人口構成の中身に変化があるのではと考えており、外国人の流入や市内で増えている人口は戸田市民かあるいは、戸田に住民票を置いているが都内で活動する戸田都民なのか等、戸田市の将来構想を練る時の考え方が、目指す人口構成のバランスにより変わると考えているため、その人口構成の中身の分析結果があると、それを加味した評価ができると考えている。
事務局	総合振興計画の説明の中で申し上げた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が主に人口に主眼を置いた計画になる。

	<p>関係人口の考えがあり、住民票が戸田市にある人のみならず、戸田市に関連がある人を増やしましょうという考え方であり、関係人口の増加を含め活力ある戸田市を持続させる目的でまち・ひと・しごと創生総合戦略が存在するが、人口推計値の中には、外国人比率については考慮していない。</p> <p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、人口ビジョンを作るにあたり、総合振興計画の施策とも紐づいているため、外国人比率についてどのように施策の中に反映できるかという点は課題である。</p>
委員	<p>施策評価は、目指すところがどこかで、ガラッと変わると考えている。</p>
事務局	<p>人口を増やすことについて、どのような具体的な要素を持った人を増やすかという詳細まで突っ込んだ記載が今現在はできていない。</p>
委員長	<p>将来展望、人口ビジョンに関して外国人の増加要素などは、総合振興計画には含んでないとのことだが、人口ビジョンのこれまで実績データはあるかと思うので、将来予測とか将来展望に関してはデータが無くても、これまでの実績が分かるデータ、それから、関係人口は数字で把握するのは難しいと考えているが、戸田都民のような数値が追える資料がもしあれば次回以降の委員会で提供をお願いします。</p>
事務局	<p>該当する資料があれば提供する。</p>
委員	<p>第5次総合振興計画と一緒に作成した国土強靱化計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略について、概要が分かる資料があればほしい。</p>
事務局	<p>本日配付の参考資料1 総合振興計画の概要版にて、全体の骨格の説明があり、第1回委員会にて配付した総合振興計画の冊子内に、2つの計画の内容の掲載があるので、そちらご覧いただきたい。</p>
委員	<p>財源に係る資料の扶助費の増減について、その内訳を知りたい。例えば生活保護を受ける人が増加しているであったり、そういった背景を知りたい。</p>

事務局	該当する資料があれば提供する。
委員	<p>今の質問は、意図が2点あると推測しており、本日の資料に記載のある平成18年時点で既に扶助費として支出していた項目がどのように増減したかということと、もう一つ、保育の無償化やこども医療費関係の更なる給付拡大といった新規メニューが増え、それが過去と比較した際にどれくらい増加しているかという2点を把握したいと考えている。</p> <p>扶助費が増えることで、一般財源の割合自体が減となることは理解できるが、扶助費は増加が良くないというマイナスイメージがある一方で、子供政策は充実できるということになると、プラスの部分もある。</p> <p>古くからある項目の推移と、新しく入った項目の内訳を把握した上で、評価の背景として理解させていただくこととしたい。</p>
委員長	委員のおっしゃった部分について、新旧分けて整理をお願いします。
事務局	可能な限り資料準備する。
委員	財源について、どの市でも同様に課税を行っている固定資産税や住民税のコア財源の収入分は、平成18年頃と比較し、どのように推移しているのか。
事務局	<p>固定資産税と住民税はコロナ禍で増えていた現状がある。</p> <p>特に固定資産税は、区画整理事業の進捗等を含む市の発展に伴い、年々上昇している経緯がある。資料については、次回までに用意させていただく。</p>
委員	住宅からの固定資産税が増えたのか、それとも法人による大規模な設備投資等による開発により、固定資産税が増えたかというどちらか。
事務局	どちらかというとなら開発の方が起因していると考えている。
委員	戸田市においては、大きな道路網の整備や旧農地や河川敷だった部分が宅地開発される等まちづくりにおける発展があったと考えているが、固定資産税の上昇という点においてはあまり効果がなかったのか。

事務局	<p>住宅もかなり増えており、特に新曽地区は区画整理が進んでおり、農地からの転用等も行われ、地価も上がっている。あとはマンション建設等も行われ、固定資産税額が急激に上がったという部分はある。</p>
委員	<p>財政状況の中で、自主財源の話があり、戸田市の場合には競艇関係の配当金等があると思うが、今後の財源の見通しなどを分かる範囲で教えていただきたい。</p>
事務局	<p>今年度の歳入内訳になるが、市税が 48.7%、国庫支出金が 19.3%、県の支出金が 6.4%、市債が 6.3%、地方消費税の交付金が 5.6%で、繰入金が 5.4%あとはその他として 8.3%となっている。競艇事業者収入は令和 4 年度で 7 億円という情報があり、少なくとも 1 桁億円が続いてるという現状があり、昔のような競艇収入があるから財政が潤っているという状況には今はない。</p>
委員	<p>財源をまかなうため、市内企業からの法人事業税等も大きな収入になると考えており、大規模企業の企業誘致について、今後の展望を教えてください。</p>
事務局	<p>企業誘致は、難しいと考えている。</p> <p>市の所有する広大な土地を持ち合わせていないため厳しいと考えているが、民間の大きな会社が撤退したときに、民民の話なので深く介入はできないが、今後の土地利用を検討する中で、新たな企業に移転先としてどうかという点について、交渉したりしている。</p>
事務局	<p><b>(2) 各評価シートについて</b></p> <p>資料 2、3 及び 4 に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>委員皆さまの評価に係る認識合わせのため、3 点質問する。</p> <p>1 点目は、事務事業評価シートは評価対象ではなく参考として、施策評価シートは評価対象として、それぞれ委員で確認をするという認識であるが、この施策評価シートの事務事業の評価結果欄は、各部局にて作成し、ABC 評価される内容と認識している。</p>

	<p>その中で経費水準の評価基準を確認すると、経費の精査は十分になされているかという点で、担当部門の話と財務管理部門の視点は違う話である。この評価結果は、財政部門を含めて、経費の精査が十分されたと認定しているという認識でよろしいのか。</p> <p>2点目は、施策評価シートにおける結果と今後の方向性における進捗状況の中で、ABCにて評価をする部分があると思うが、ABCの解釈が難しい。例えば、A 躍進中と評価されるのはどのような場合なのか。</p> <p>躍進ということは裏を返せば、最初の事業見立てのとおりに進んでいないとも言え、取りようによっては失敗していると捉えることもできる。限りある予算の中で事業実施を行ったというプラスの場合も考えられるので、躍進中の意味合いをお聞きしたい。</p> <p>3点目は、本評価にあたってはロジックモデルシートを参考にという話があり、施策評価シート内の施策の指標における成果（主な成果）がロジックモデル各階層のどの階層に相当するものが、確認をしたい。</p>
事務局	<p>1点目、事務事業評価シート内の経費水準のABC判断について、こちらは、担当部局の評価となるので、財政管理部門による判断はない。</p> <p>評価対象は、前年度に完了した事業であり、担当課の主観における評価であるが、投入予算に対する得られた成果や示している指標の達成状況等を基に、担当部局にて総合的に判断しているものとなる。</p>
委員長	<p>外部評価の際に提出される各評価シートは、担当課における一次評価であり、外部評価の結果を受けて、最終的な評価結果を公表するにあたっては、市としての評価結果にあたるものになると理解している。</p>
委員	<p>事務事業評価シートの経費水準等一つ一つも委員側で確認する必要があるのか。</p>
委員長	<p>事務事業評価シートはそこまで細かく確認をしていただく必要はなく、施</p>

	<p>策の評価を中心に、必要に応じて事務事業の内容も確認いただくようなスタンスでお願いします。</p> <p>もちろんこの事務事業の内容について、ヒアリングのときに、質問や意見交換していただくのは差し支えない。</p>
事務局	<p>2点目の施策評価シートのA 躍進中はどのような場合につくのかという質問について、様々なケースが想定されるが、例えば、事業年度中に事業が追加され、想定していた予算の中で、効率的な手法を取り入れることで、より目的に近づくことができたり、あとは、各施策の指標において、目的数値を大きく超える効果が発現した等、計画以上に目標に近づいたということがあれば、それは担当部局において躍進中と判断するケースもある。</p>
委員長	<p>施策の進捗状況の判断については、気になっている部分があり、「何をやったか（アウトプット）」と「やった結果どうなったか（アウトカム）」のどちらかで、施策の進捗状況を判断することになるのかという点である。</p> <p>今の説明だと、施策評価シートの1枚目の表にある、施策指標の成果はアウトカムの状況を見ていく形になると考えている。</p> <p>そのアウトカム指標の内容で、年度ごとの目標値を超えていれば躍進中がついたりする可能性もあるという認識でいるが、どうか。</p>
事務局	<p>施策の進捗状況は、「やった結果どうなったか」のアウトカム指標で確認していただく形になる。</p> <p>3点目の施策評価シートの主要指標の部分は、ロジックモデルシートのどの階層に対応しているのかという質問について、ロジックモデルシートの主要指標のところはアウトカム指標として設定しておりますので、ロジックモデルの最終成果に対応しているものである。</p>
委員	<p>最終成果は、活動をしてから効果が出るまでに熟成する期間があるというのが一般的な考え方だと思うが、施策評価シートの最終成果に対応する指標は毎年度の成果を迫るような設定になっているのが気になる。</p> <p>毎年度の成果を迫るものはロジックモデルの階層別で捉えるところの、直接成果であるため、最終成果を指標とすると、それは遅行指標であり、前</p>

	<p>年度の成果を追うことが困難とも考えられる。</p> <p>最終成果に対応する指標によって毎年度のデータから進捗を追えるのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>指標には、アウトカム指標を設定しているが、毎年度の成果を追えるような指標設定というところは今後の検討課題である。</p>
委員長	<p>指標により、効果が出るまでに時間がかかるものがあるのは、ケースバイケースであるが、最終成果が施策における指標レベルである場合に、どのように評価すべきか整理いただくことが必要である。</p>
委員	<p>質問した意図としては、評価側である委員において、評価ポイントがずれないようにしなければならない点からである。</p> <p>市担当部局が施策評価を行う際のマニュアル等があれば、委員側における共通認識のため、提供してほしい。</p>
事務局	<p>参考となるマニュアル等も提供させていただく。</p>
委員長	<p>施策評価シート内に記載のある事務事業ごとの施策内優先度について、以前はABCの付け方のルールが存在したと記憶している。</p> <p>また、評価でCが2か年連続して付き、かつ見直しがされていない場合は、庁内会議体にて諮り、不要であれば廃止という取扱もあったと記憶している。</p> <p>もしルールがあれば、担当課の考え等も汲み取りたく、資料を提供してほしい。</p>
事務局	<p>事務事業の内部評価におけるルールを確認し、あれば提供させていただく。</p>
事務局	<p>(3) 令和6年度戸田市外部評価ヒアリング対象施策の選定について資料5に基づき、説明を行った。</p>

	<p>令和6年度については、外部評価委員会の選定施策を3施策、市長選定の施策を3施策としたく、外部評価委員会の評価対象施策は、「10地域福祉の推進」、「21快適で秩序ある美しい市街地の形成」、「32市民活動の活性化と地域交流の促進」とし、市長選定の評価対象施策は、「1子育て支援の充実」、「15消防・救急体制の強化」、「27生活環境の保全」に決定してよいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>承認とする。 その他に意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>(4) その他 令和6年度第3回戸田市外部評価委員会は、令和6年7月4日木曜日の午前9時から501会議室にて開催を予定しており、第3回では、さきほど決定していただいた6施策について、事務局から施策の概要や現在の取組状況等を説明させていただく予定である。</p> <p>また、本日いただいた宿題事項については、後日回答をさせていただきます。</p> <p>8 閉 会</p>

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年7月4日(木) 午前9時00分 ~ 午前11時20分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹                      副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之                      委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美                      委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 令和6年度評価対象施策の概要について (2) 今後の事務スケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 前回宿題事項一式 【資料2】 外部評価ヒアリングまでのスケジュールについて 【資料3】 当日のヒアリング実施スケジュール 【参考資料1】 事前質問記入用紙(令和6年度外部評価ヒアリング) 【参考資料2】 ロジック・モデルシート(6施策分) 【参考資料3】 施策評価シート・事務事業評価シート(6施策分)

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開 会</p> <p>&lt;第2回外部評価委員会における質問事項の回答について&gt;</p> <p>資料1に基づき、説明を行った。</p>
委員	外国人比率の増加と扶助費の増加の関係性を教えてほしい。
事務局	少なくとも、生活保護については、生活保護と同様の保護を外国人に対して行っていると記憶しており、扶助費に一定の影響があると考えられる。その他の扶助費に関するメニューの外国人に対する適用の有無や、影響額については、後日の回答とさせていただく。
委員	戸田市民のうち都内に就業・通学するいわゆる戸田都民の数について、就業者と通学者の内訳を教えてほしい。
事務局	確認し、後ほど回答させていただく。(開催日中に、就業者が26,896人、通学者が2,393人と、各委員に対し回答を行った。)
委員長	<p>2 議 事</p> <p>(1) 令和6年度評価対象施策の概要について</p> <p>本日はタイムスケジュールが厳しくなっており、議題(1)に係る委員からの質問は、各施策に係る事実関係を確認する質問に留めていただき、事業の妥当性など、施策評価の内容に係る質問については、8月に行われるヒアリングの際に行っていただきたい。また、この場ですぐに回答できない質問については、ヒアリング前の書面での回答か、ヒアリング当日に説明を行う取扱いにさせていただく。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>&lt;施策15「消防・救急体制の強化」&gt;</p> <p>参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>

委員	<p>大前提として、想定している災害がどのようなものなのか、イメージを共有したい。消防や救急の体制は、想定している災害、例えばこの地区には木造家屋が多いので火災が発生した場合、こういう状況が想定されるというシミュレーションがあつて初めて、構築できるものと思う。</p>
事務局	<p>まず、地震等の大規模災害に対応する防災や危機管理の体制については、施策16において対応をしている。本施策については、火災を未然に防ぐ予防や、個々の火災に対する出動など、消防の個々の活動が範疇となる。御質問の体制整備の中で具体的に想定している災害については、担当課に確認させていただく。</p>
委員	<p>2点、質問と資料の要望である。1点目は、施策名称に「強化」とあり、これはある水準からある水準に変化が起こることが想定されているということと思う。事実として変化があつたか否かという点と、あつた場合は、変化を引き起こした構造について教えていただきたい。</p> <p>2点目は、消防救急体制の職員の体制についてデータをいただきたい。公務員の定年延長により60歳以上の職員数が増加すると思うが、その点は「強化」に関する基礎数値として押さえておきたい。</p>
事務局	<p>事前の質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><b>&lt;施策1「子育て支援の充実」&gt;</b>  参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>2点質問する。施策指標で「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間のある母親の割合」とあるが、一方で、ロジック・モデルシートの直接成果として「両親が、それぞれの子どもに合った育児をすることができる。」とある。</p> <p>父親も育児を行う中で、施策指標を母親に限定している理由や、父親の方で何か参考になるような情報があれば提供をいただきたい。</p>

事務局	事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。
委員	<p>本施策の取組方針として記載されている「妊娠・出産から育児まで切れ目ない支援の展開」の中で、相談・支援体制の充実とある。この充実を図るという点で、「変化」が生じていると思うので、この業務に従事する会計年度任用職員数など、何か変化が迫るような資料の提供をお願いしたい。</p> <p>また、お金の面においても、支援体制の充実を図っているとすると変化があると思う。ただ、国の事業を市が窓口として行っているのみとすると、市の取組ではあるが、実質的には市の取組として変化がないとも言える。支援体制の充実をお金の面で見ると、最終的に市民の方の手元に届くお金が増えるのだと思うが、それが、国の事業を利用して国の資金で実施しているのか、その資金の一部として市の資金も含まれているのか、また、市の独自事業として市の資金を使っているのか、そういった内訳が分かるような資料を御提供いただきたい。</p>
委員長	重要な点である。例として、国の事業として出産時や妊娠時の応援金があるが、国、県、市でそれぞれ負担割合があると思う。
事務局	<p>御要望として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><b>&lt;施策 2 1 「快適で秩序ある美しい市街地の形成」&gt;</b> 参考資料 2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	駅周辺の整備に関し、各駅の完成イメージのようなものがあれば御提供いただきたい。
事務局	御要望として、担当部局と共有させていただく。
委員	<p>個人的な感覚ではあるが、戸田駅西側の整備について、ロータリーの機能が極めて不合理であると思っている。緑も少なくコンクリートで固められていて景観的に見てとても美しいとは思えない。</p> <p>ロータリーは、入ってから出るまでの時間を短くすることが合理的機能の</p>

	<p>1つと思うが、出入り口が1か所で道路も蛇行している。利用車の燃費も悪化すると思うし、SDGsの観点からも疑問がある。都市設計における合理的機能の検証は行うべきと考えている。</p>
事務局	<p>設計に当たっては、担当部局において各種会議等で関係者の意見を聴きながら進めてきたという認識でいる。いただいた御意見は担当部局と共有させていただき、ヒアリングの際に説明ができればと考える。</p>
委員	<p>本施策の取組方針として記載されている「都市マスタープランの推進」について、「都市マスタープランの検証を行い、結果に基づいた見直しを実施します。」とある。ただ、ある程度の実行期間がないと成果は出てこないものなので、見直しもすぐには行うことはできない、というのが一般論としてある。現状で、この都市マスタープランは見直しの局面に入っているか、どういった局面にいるのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p> <p><b>&lt;施策27「生活環境の保全」&gt;</b>  参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>ロジック・モデルシートについて、施策指標である「一般廃棄物のリサイクル率」に接続する矢印がなく、リサイクル推進事業と関連があっても良いのかなと思う。また、同事業は評価シートの内容も堆肥化のことが中心になっており、一般廃棄物のリサイクル率の向上を謳う施策の内容としては不十分にも思える。3Rの観点からは、資源物回収に関しての補助等も想定されるので、ヒアリングではそういった具体的な取組等も伺いたいと思っている。</p>
委員	<p>施策指標「河川の水質の環境基準達成率」について、達成値が令和4年度以前は50から60パーセント代での推移であったが、令和5年度に100パーセントになっており、少し違和感がある。実測の経過や、裏付けのデータがあると良いかと思う。</p>

委員長	これについて、事務局で何か事実関係として把握していることはあるか？
事務局	BOD（生物化学的酸素要求量）の測定地点の変更があったことは担当課に確認をしている。御指摘があったことを含め、担当部局に共有させていただく。
委員長	測定方法がこれまでと異なるのであれば、変更について合理的理由が必要になるので、ヒアリングの際に説明をお願いしたい。
委員	市内には下水道が整備されていない地域はあるのか？
事務局	詳細な区域はこの場では分からないが、新曽地区に存在する。
委員	もし未整備地域の近くに観測点があるとすれば、測定値として異なる結果が出てくるようにも思える。いずれにせよ合理的理由が必要である。
事務局	BOD（生物化学的酸素要求量）の測定地点の変更に係る説明が必要なことについては、担当部局と共有させていただく。
委員	施策指標の「一般廃棄物のリサイクル率」について、人口の増加により一般廃棄物の量の増減により、リサイクル率の分母が変わることになる。仮に人口が一定であれば、人口が増加した場合と比較するとリサイクル率は上昇することになる。指標が人口の増減で左右されてしまう訳で、市の努力が見えにくくなっているようにも思える。
事務局	リサイクル率の算定に係る基礎データを提供させていただきたい。
委員長	施策指標について、先ほどのような妥当性に関する御指摘や、より適切な施策指標があれば御提案いただきたいと考えている。目標値の設定の妥当性なども同様である。

	<p>(休憩)</p> <p>&lt;施策32 (市民活動の活性化と地域交流の促進)&gt;  参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>施策指標の多文化共生推進計画の進捗率について、当該計画において単年ごとに目標が設定されていて、その達成割合なのか、それとも当該計画に最終的な目標値があり年度ごとにその到達具合みたいな形で進捗率を出しているのか、施策達成値の算定方法を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>多文化共生推進計画に係る個々の施策において年ごとに目標が設定されており、施策数に対する目標を達成した施策数の割合を施策達成値としている。</p>
委員	<p>年ごとに設定されている多文化共生推進計画の施策の具体的な中身と、それぞれの年度でどういった設定になっているのかが分からないと、この施策指標については評価が難しい。</p>
事務局	<p>事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員長	<p>町会・自治会の担い手の高齢化が課題とあるが、実際にどれくらい高齢化しているか数値のデータはあるか？また、高齢化に関連した施策指標が設定されていないので、設定した方がよいと考える。</p>
事務局	<p>事前質問及び御要望として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員	<p>施策指標の「地域の活動に参加している人の割合」の地域の活動とは具体的に何か？また、市民意識調査では、どういった対象を調査しているのか？</p>
事務局	<p>市民意識調査は隔年で実施をしている。調査対象は、市内在住の18歳以上の方3000名を無作為に抽出し調査書を送付しており、回答はおよそ半分の方からいただいている。無作為抽出は、年齢層や居住地区など戸田市民</p>

	<p>全体の割合と同様の割合の方が選ばれるように抽出を行っている。</p> <p>地域の活動の内容については、市民意識調査において「町会・自治会」「ボランティア団体」「市民活動団体」に参加していると回答があった割合の合計値である。</p>
委員	<p>回答者1人が、今の3つの活動全てに参加していると回答すると、それは3カウントされるということか？</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>ボランティア活動に参加する方は、色々な活動に参加していることが多い。逆に、興味がない方は全く参加しない。市民意識調査の対象者が偶然どちらかの要素を持った方に集中すると、偏った値が出てしまうように思う。</p>
委員長	<p>市民意識調査の結果については、情報提供をお願いしたい。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
委員	<p>本施策には、地域コミュニティの推進が含まれると思うが、ロータリークラブや青年会議所などの団体や企業は、これに含まれるのか？例えば、市内企業でも、少年少女サッカーへの応援や協力、スポンサーになっていたりする。</p>
事務局	<p>地域コミュニティの推進に関する事業において、企業を含んでいる領域があるか、事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員長	<p>この施策で取り扱うものか、あるいは他の施策の対象となるのかという点からも確認が必要と考える。</p>
委員	<p>先ほどの質問に関連するが、地域の活動の範囲に関して、PTAなど色々な活動があると思うが、調査では他にどういったデータをとっているのか。</p>

事務局	<p>市民意識調査での回答項目としては、「趣味のサークルやクラブ」「業界団体・同業者団体」「その他」である。地域の活動の範囲として何を設定するのが適切であるかは、次回以降の調査では担当課とも調整しながら進めていきたい。</p>
委員長	<p>この施策の名称は幅広だが、事業はかなり絞り込まれているように思える。事業を束ねて施策を作るのではなくて、施策から事業を考えるのが本来である。例えば、地域コミュニティの活性化という点で、社会福祉協議会には地区社協があり、色々なコミュニティ活動が行われているはずで、そういったものがこの施策に含まれるのかどうかという議論も必要かと思う。</p> <p><b>&lt;施策10「地域福祉の推進」&gt;</b>  参考資料2・3に基づき、説明を行った。</p>
委員	<p>意見であるが、課題の中で民生委員の確保が難しい状況とある。私は民生委員であるが、次の民生委員候補を現職の民生委員自らが探さないといけない現状があり、かなり厳しいと感じている。市の方でも適格者に声掛けをしてもらえると、担い手が増えるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>2点質問する。1点目は、福祉総合相談窓口に係る施策指標の記載について、施策評価シートでは「支援につなげた件数」と総合振興計画の冊子では「支援を実施した件数」の2通りがある。どちらが正しいか教えてほしい。</p> <p>2点目は、施策評価シートの施策の課題について「社会福祉協議会及び民生委員と庁内関係課とが円滑に連携していく必要がある。」とあるので、現状は円滑に連携できていない状態なのだと推察するが、現状でこういった状態なのかを伺いたい。</p>
事務局	<p>事前質問として、担当部局と共有させていただく。</p>
委員	<p>民生委員の確保が難しいという課題の中で、施策指標の「民生委員相談件数」は目標値を上回っている。相談を受ける件数の増加を是とする中で、民生委員数との乖離が広がっており、どこかのタイミングで、どちらかにテコ</p>

	<p>入れをする必要があるのではと感じている。</p> <p>(2) 今後の事務スケジュールについて 資料2・3に基づき、事務局が説明を行った。</p> <p>委員長 意見や質問等はあるか。</p> <p>委員一同 なし</p> <p>3 閉 会</p>
--	---

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第6回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年9月20日（金）午前10時00分～午前10時55分
開催方法	Web会議
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹                      副委員長 長野 基
出席者氏名 （委員）	委 員 青山 裕之                      委 員 溝上 西二 委 員 宮崎 仁美                      委 員 忰田 康二 委 員 古賀 麻明利
欠席者氏名 （委員）	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	渡辺課長 北田副主幹 薄葉主事
議 題	(1) 答申書（案）について (2) 今後のスケジュールについて
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料1】 答申書（案） 【資料2】 別紙令和6年度戸田市外部評価委員会の評価結果 【資料3】 今後のスケジュールについて 【参考資料】 各施策の外部評価結果一覧

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>○委員長挨拶</p> <p>本日の目的は、本委員会としての答申をまとめていくことである。6 施策あり、各施策の評価結果について、6 分から7分程度で決定していくことから、非常にタイトになるため、円滑な進行に協力いただきたい。</p>
事務局	<p>2 議 事</p> <p>(1) 答申書 (案) について</p> <p>資料1及び資料2に基づき、説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員	<p>事務局 (案) の評価結果で加重平均を用いているとあったが、これは、小数点以下を四捨五入するという考えでよいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員長	<p>他に質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
委員長	<p>続いて、資料2の各施策の委員会の評価欄について審議の上、評価結果を決定していく。</p>
委員長	<p>&lt;施策1&gt;</p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：6件、B：1件、C：0件である。</p> <p>加重平均：3.86であることから、委員会の評価を「A妥当である」として良いか。</p>

委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：2件、B：5件、C：0件である。</p> <p>加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>③ 資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：4件、維持：3件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.57であることから、委員会の評価を「↑増加」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>以上で、施策1を終了する。</p> <p><b>&lt;施策10&gt;</b></p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：2件、B：4件、C：1件である。</p> <p>加重平均：3.14であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員一同	承認

<p>委員長</p>	<p>② 施策指標の妥当性          評価結果は、A：2件、B：3件、C：2件である。          加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>③ 資源の方向性（予算）          評価結果は、増加：2件、維持：5件、縮小：0件で、加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>④ 資源の方向性（人員）          評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件で、加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で、施策10を終了する。</p>
<p>委員長</p>	<p><b>&lt;施策15&gt;</b>          ① 事務事業の妥当性          評価結果は、A：6件、B：1件、C：0件である。          加重平均：3.86であることから、委員会の評価を「A妥当である」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>② 施策指標の妥当性          評価結果は、A：3件、B：3件、C：1件である。</p>

	<p>加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員	<p>私は「B改善（小）」と評価したが、「C改善（大）」へと評価を変えたい。コメント⑥のとおり、最終成果1「大規模災害や特殊災害に対応できる状態」を測る施策指標が設定されていないことは、「C改善（大）」と考える。</p>
委員長	<p>委員の意見について承知した。 その他意見はあるか。</p>
委員	<p>施策指標の当初値の設定時には想定していなかったコロナウイルス流行の関係で、目標達成が難しくなっている指標があった気がしたが、それは何であったか。</p>
事務局	<p>救急車の現場到着平均時間である。コロナが流行する前に設定した目的値が、コロナ流行後もそのままであり、目的達成が難しい状況が出てきている。</p>
委員	<p>コメント②の2つの施策指標に関して比較できる資料が不足していたので、成果について検討できないことから、「B改善（小）」として評価していたが、「A妥当である」に入っている。</p>
事務局	<p>事務局の誤りであり、お詫び申し上げます。 ここで状況をまとめると、元々がA：3件、B：3件、C：1件で加重平均が2.29であったのが、A：2件、B：3件、C：2件で加重平均が2.00となる。</p>
委員長	<p>加重平均を用いた結果で「B改善（小）」に近いが、加重平均による評価が全てではない。他に意見はあるか。</p>
委員一同	<p>なし。</p>
委員長	<p>それでは、改めて確認するが、委員会の評価は、「B改善（小）」として良</p>

	いか。
委員一同	承認
委員長	③ 資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：2件、維持：5件である。 加重平均：2.29であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。
委員一同	承認
委員長	④ 資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件である。 加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。
委員一同	承認
委員長	以上で、施策15を終了する。
	<b>&lt;施策21&gt;</b>
委員長	① 事務事業の妥当性 評価結果は、A：5件、B：1件、C：1件である。 加重平均：3.57であることから、委員会の評価を「A妥当である」と して良いか。
委員一同	承認
委員長	② 施策指標の妥当性 評価結果は、A：2件、B：3件、C：2件である。 加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善（小）」と して良いか。

委員一同	承認
委員長	<p>③ 資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：3件、維持：4件、縮小：0件である。 加重平均：2.43であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件である。 加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
委員	<p>これまでの施策全般にも言えることだが、人員の増加の評価については、部局にて人を増やす想定があるから、必ずしも「増加」という評価にはならず、部局にて人を増やす想定がある以上、その想定を「維持」といった評価も想定でき、その2つが混じっているが、このあたりの細かなニュアンスは部局に伝えてもらえるのか。</p>
事務局	全施策について担当部局にお伝えする。
委員長	評価としては、「→維持」として良いか。
委員一同	承認
委員長	以上で、施策21を終了する。
委員長	<p>&lt;施策27&gt;</p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：2件、B：1件、C：3件、D：1件である。</p>

	<p>加重平均：2.57であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p> <p>評価が割れているので、判断に悩むところである。</p> <p>「C改善（大）」も3件ある。</p>
委員	<p>「B改善（小）」と評価をしたが、リサイクルの部分は部局にも重点的に取り組んでほしいところであり、自らの評価はそのままであるが、委員会の評価としては、「C改善（大）」としても良いと思う。</p>
委員長	<p>「C改善（大）」としての委員の意見も多く、委員会の評価を「C改善（大）」としても良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：3件、B：2件、C：2件である。</p> <p>加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>③資源の方向性（予算）</p> <p>評価結果は、増加：1件、維持：6件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.14であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>③資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、増加：0件、維持：7件、縮小：0件である。</p> <p>加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「→維持」として良いか。</p>

委員一同	承認
委員長	以上で、施策27を終了する。
委員長	<p>&lt;施策32&gt;</p> <p>① 事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：3件、B：3件、C：1件である。 加重平均：3.29であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>② 施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：2件、B：2件、C：3件である。 加重平均：1.86であり、評価が割れており悩むところではあるが、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
委員	個人としては、「B改善（小）」として評価しているが、指標設定の部分で見直すべき点もあると考えられるため、委員会の評価としては、「C改善（大）」としても良いと思う。
委員	同じく、指標設定の部分で問題があると思い、指標を変えてほしいと思いつつ、個人の評価としては、「B改善（小）」としている。委員会の評価としては、「C改善（大）」としても良いと思う。
委員長	ご意見いただいたとおり、指標設定の部分で課題があることから、委員会の評価を「C改善（大）」として良いか。
委員一同	承認
	③ 資源の方向性（予算）

委員長	<p>評価結果は、維持：7件である。</p> <p>加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>④ 資源の方向性（人員）</p> <p>評価結果は、維持：7件である。</p> <p>加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「→維持」として良 いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>以上、「議題（1）答申書（案）について」を終了とする。</p>
事務局	<p>（2）今後のスケジュールについて</p> <p>資料3に基づき、説明を行った。</p> <p>次回の第7回外部評価委員会まで日数が限られていることから、最終的な 確認については、委員長に一任いたしたいと考えている。</p>
委員長	<p>最終的な確認について、委員長一任という提案がなされたが意見や質問等 はないか。</p>
委員一同	なし
委員	<p>第7回会議は対面開催であるか。</p>
事務局	<p>その予定である。</p>
委員長	<p>他に質問等はあるか。</p>
委員一同	なし

	3 閉 会
--	-------

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第7回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和6年10月15日(火) 午前10時30分～午前11時20分
開催方法	公室
出席者氏名	市長 菅原文仁 副市長 豊島浩明 委員長 佐藤徹 副委員長 長野基 委員 青山裕之 委員 溝上西二 委員 宮崎仁美 委員 悴田康二 委員 古賀麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	企画財政部 吉野部長 清水次長 共創企画課 渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	答申及び意見交換
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・次第 ・答申書及び別紙

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
市長	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>戸田市外部評価委員会から市長への答申及び意見交換について (市長から以下のとおり挨拶を行った後、各委員から報告が行われた。)</p> <p>本日は戸田市の外部評価委員会委員会の答申で、朝早くからお集まりいただき、また日頃より委員の皆様には本市の市政運営、そして今回の評価も通じていろいろ協力をいただき感謝申し上げます。</p> <p>特に佐藤委員長、長野副委員長には長年にわたり本市の外部評価委員で、いろんなご支援ご提言をいただいた。次年度予算に今回の評価結果を紐づけていくというところで、4月から短い期間で6回委員会を行い、実のある議論がなされたと伺った。戸田市の実施事業について、外部から評価をいただくということで、6施策でいただいた指摘を改善策につなげていきたい。忌憚のないご意見いただき感謝申し上げます。戸田市の10年間の計画である総合振興計画が令和8年度に折り返しを迎えるため、令和7年度に大きな見直しをする節目である。その中で、皆さまからの指摘も踏まえて後期基本計画の策定につなげたい。</p> <p>本日の皆様の感想なども聞きながら、しっかり受けとめていきたい。何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
委員	<p>私は市民として25年以上戸田市に住み、実際の市の施策の恩恵を享受してきた。今回公募を見て応募し、実際に戸田の行政の現状と今後の計画を外部評価委員会委員として見ることができ、非常に戸田市への愛着もすごく感じた。特に私の世代や今後の若い世代も市の発展に関わっていけたらと思う非常に貴重な機会だった。来期もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>このような場においては、若いメンバーや私の同世代の参加は厳しいので、参加できたことは嬉しく、もっと若い人が参加できる場所になれば良いと改めて思った。</p>

<p>委員</p>	<p>評価6施策について、消防関係と子育て関係は専門的で評価が難しかったが、専門性からすると良いと思いA評価にした。</p> <p>他の4施策については、ピンとこない部分が多い。なぜかという、戸田市特有というこだわりが感じられない。いわゆる東京24区のようなとらえ方があり、戸田の特色を生かして事業を展開していこうという視点が、一般論に流れてしまって、どうもピンとこない部分がある。戸田市とはというところが見えない。いろんな指標や施策が挙げられているが、その指標が戸田市にあったサイズになってない。自分のサイズとは、自分のところの現状の欠点を認識し、それを戸田市なりに次の段階に持っていくというところであり、そこに意識がいて欲しい。</p> <p>なぜかと思って、戸田市の市民憲章や平和都市宣言、それから市の花や木の選定過程を読ませてもらった。辛うじて戸田のアイデンティティを感じられたのは、市民宣言の冒頭で「豊かな荒川の流れと、うるわしい武蔵野の大地をふるさととする」、この捉え方が非常にいいと感じた。だが、そこを生かす観点やこだわりが感じられない。平和都市宣言も読んだが、戸田市の特徴は何も入ってない。戸田の市民に根付いていない。</p> <p>それから市の花の経緯で、荒川の一帯にサクラソウが繁茂して、非常に綺麗な景観を作り、大勢の市民が見に訪れたことから、サクラソウを市の花にした。だが、市の敷地でサクラソウを見たことがない。市の木、キンモクセイも行政の発信地である敷地にPR的に植樹しないのか。</p> <p>行政としては、人がどんどん流入し、東京への通勤が便利だから、いわゆる戸田都民のような人々の比率がどんどん増えている。悪い側面ではないが、戸田の行政なので、私は戸田の特色を生かした事業にこだわって欲しいと考えている。</p> <p>もう1つ、市長に一言申し上げたいことがある。戸田市役所で、一番感心したのは前の花壇の桜の木だった。これは良い桜で、樹齢からいろいろ感じられるものがある。しかし見事になくなってしまった。</p> <p>私も昔の勤務先で、30年前ぐらいに独身寮や社宅の周辺に桜を植えた。ところが、モータリゼーションが一般的になり、従業員の通勤手段がマイカーに変わった。それに伴い、社宅の周りの桜の木の下に停める。そうすると駐車場に樹液や花びら、葉っぱなどが落ちて従業員の車の管理が大変になる。桜の木を切ってくれという、要請が出た。私はそのとき責任者で、樹齢</p>
-----------	---

	<p>35年で今盛んに花を咲かせる桜を切れないと思い、切るのをやめた。</p> <p>先人の思いがベースでいろんな人たちのアイデンティティができてくると思うので、それを継承することは非常に大事だと思う。その辺を行政としてやって欲しいと率直に思った。</p> <p>前回も2年間の外部評価委員を経て、また今期も務めさせていただいている。今回もいろいろ勉強になることばかりで、学ぶものがあった。また参加させていただけたらと思う。</p> <p>その他の話で花火大会の感想だが、いい天気で家からもはっきり見えた。周りの見ている人たちの、特に子供たちの歓声があちこちから聞こえて、すごくいい1日だった。またこれからも続けていってほしい。</p> <p>戸田市は祭りが多いと思う。年間を通じていろんな祭りをやっている。毎回いろんな祭りにたくさんの人が出るのは、祭りが戸田に根づいていて、みんなそれを通じて戸田市に愛着を持つのだと思う。やはり祭りもすごく大事な要素だと思う。</p> <p>私自身が福祉や教育に関わっているのでそちらに目がいくことが多いが、こども医療費の対象年齢の拡大や、北大通りの雨水貯留施設の整備などの取り組みを見ると、待ち望んだことを進めてくれている。不登校対策などこれからもみんなの要求をどんどん汲んでやっていただきたい。</p>
委員	<p>私は戸田市商工会の会員として参加している。今回の第5次総合振興計画を読み、生活や医療、教育、それから都市まちづくり等に関する施策について理解した。医療や福祉も大事であるが、戸田市で50年近く会社を運営し、いろいろやってきた商工会員の立場から申し上げる。市内に約5200の事業所があり、その中で大体6割弱が戸田市商工会に加盟している。私も商工会の役員になり様々な会社を訪問したが、業績が伸びている会社もあれば、今日でも明日でも店を閉めてしまうという悲惨な声も聞いたりする。その中で市民生活はもちろん大事だが、戸田市の経済、雇用の好循環を少しでも力を入れて欲しいと思った。</p> <p>令和3年度から7年度までの5ヵ年間で戸田市経済戦略プランがある。戸田市商工会でも第3次の5ヵ年計画があり、令和3年度から7年度までと同じ期間だ。外部評価委員に任命されているいろいろ調べた結果同じ期間のである</p>

ことが分かり、商工会と環境経済部で深掘りできればと実感した。

昭和41年に戸田市になり約60年弱経ち、埼京線が開通して3つの駅ができた。戸田公園駅、戸田駅、北戸田駅も西口が開発されて駅前らしくなったが、そのもう一方の東口の開発も進むと嬉しい。なぜ40年も経つのに駅前開発がこんなにかかっているのかと私は常々思っている。

下水処理について、文化会館付近、例えば戸田駅辺りも食堂やレストランがあるが、下水の臭いがすごい。食事に行くところに臭いがするのは、店に入る前から不快に感じる。

新曽第一地区と第二地区、新曽中央地区の区画がそれぞれ少しずつ進んでいるが、地主、地権者、土地所有者があるから、戸田市の職員が控え目になっていると個人的に思う。もう少し行政の力で街づくりを積極的に進めた方がいいと思っている。

個人的に戸田の開発が遅いと感じるので、行政の力を発揮しながら皆さんに協力いただき、推進いただければと考えている。

委員

今回公認会計士協会埼玉会からの推薦で外部評価に初めて参加している。外部評価の観点では初めて戸田市に関わった。フレッシュな目線でいろいろ拝見した。公認会計士は、意思決定のプロセスや、施策策定のプロセスの流れを重点的に見ることができる方が多いイメージがある。私もそのような目で6施策を拝見した。

まずはこの外部評価委員の構成が素晴らしいと思った。非常にバランスが取れている。市民の目もありながら、経験の非常に多い委員長、副委員長、今回外部評価で様々な意見、専門家の目からいろいろな話が飛び、非常に私自身勉強になった。その中で私に何が言えるかを考えながら先程の目線で見た意見を評価結果に書いた。

ロジック・モデルシートは策定や計画を可視化する点で非常に良い反面、現場で運営する側の役所内での浸透がなかなか難しいという感想もあった。ぜひ良い制度なので、前例踏襲ばかりではなく、ロジック・モデルシートの域をしっかりと考えながら、随時更新すると非常に良いと思った。

私もさいたま市などの市民活動や経済活動に参加しながら埼玉県の仕事もやっている。是非、横の連携をとっていただきたい。埼玉県の特に南部においては「埼玉都民」と言われるように、総じて地元への関心が薄く、市民

活動への参加も消極的な層が多い反面、地元で生まれ育った層を中心に、地元愛が強く積極的な地元文化を維持・醸成・発展させるムーブメントが確認でき、戸田市も同様であると感じた。やはりその情勢は非常に大事だ。「埼玉都民層」の皆さんは、住みやすい自分の街が好きだが、都内に勤めていると、なかなか地元活動への参加に踏み出せないという現状があるので、それをうまく刺激していく施策を実施してほしい。戸田市では祭りが多く、それも地元活動への参加のよい機会なので、祭りを「埼玉都民」にとっての「消費」の場としてだけでなく、「地元愛をさらに醸成できるコミュニケーションの場」とできれば、さらに素晴らしいと思った。

最後に、北戸田で行うウォークブル事業についてである。国交省からウォークブルを推進する政策により全国の自治体でもそれを推進している背景があると思うが、是非ウォークブルを外形だけでとらえずに、戸田市に合った形でのウォークブルを検討されると非常に嬉しい。

ウォークブルの本流であるヤン・ゲールの「人間の街」という書籍や、その彼の弟子のデイビッド・シムの書籍「ソフトシティ」では、まちはソフトなもの、やわらかいもの、という考え方を非常にわかりやすく示した書籍だ。それを参考にしながら、ウォークブルを国交省が出した事例にとらわれず、しっかり議論できれば、とてもソフトな、ウォークブルなまちづくりができると思っている。

委員

今回の施策点検対象は、これは結果的に偶然だが、その取り組みを設計するときがまさにコロナの時代だった。議論し検討するときに準拠する期間や対象が、コロナ禍を見て次のアクションを考えることが、各施策にやや制約を与えていた面が大変多くあったと感じる。

次の計画の見直しを考えるときに、コロナ禍を前提に作ってしまったが。コロナ禍の開けた瞬間に国の政策として大きく変わったものがあった。

これは結果としてコロナ禍明けに変わったものを踏まえたときに、今回検討した取り組みの準拠しているものや期間の制約が変わったことになる。見直す過程のときに準備すべきことが目についた。

次は残念なところもあった。戸田市の計画づくりのとても面白いところは、価値の優先順位をつけるために冊子内にアンダーラインを引くところだ。普通計画は項目ごとで、大切なのが戦略計画部門だ。1つの取り組みの

中で、ここを注目しろという印を付けるのがすごく面白い設計の仕方をして  
いるのですが、外部評価ヒアリングにおいて、印が付いている案件について  
深掘りして聞くと、それは協働会議にてそういう発言があったからというレ  
スポンスが複数あった。それは検討していく手順の中で各部局がプロフェッ  
ションとして反論しなかった可能性がある。市民の公開の場で言わなかった  
からではなく、現場の判断や反論がなかったがゆえに結果として、他人事  
のような雰囲気があったのは残念だった。

この次の見直しの過程は、コロナが終わって、フォーメーションが変わる  
段階だ。現場のロジックを全部受け入れたら逆に計画破綻する面もあるので  
それは難しい。共創企画課が調整すべき部分もあると思うが、行政職員が専  
門性を引き出す手順がより強調されるのが次の課題だと思う。

委員長

戸田市の外部評価委員を務めて10数年になるが、その間ずっと評価制度  
をブラッシュアップして今日に至っている。戸田市の外部評価は本当に楽し  
く参加させていただいて、私自身も非常に勉強になっている。

さて、EBPMに関して戸田市は学校教育分野では非常に先駆的な取り組  
みを行っており、全国的にも大変有名である。それが学校教育分野以外の  
様々な政策分野にも波及していくと良いと思っている。多分市長もそう考  
えていると思っている。外部評価委員会では、様々な政策についての外部評  
価を行っており、ここ数年ロジック・モデルが導入されていったその過程を  
見ると、だんだんと施策を担当する次長・課長のプレゼンテーションが非  
常にスマートになってきた。その一方で、まだまだ浸透が道半ばと思う。

政府は2017年頃からEBPMを本格的に推進し始めて、政策評価にお  
いてロジック・モデルが活用されつつあるが、今年は骨太の方針の中で、初  
めて「ロジック・モデル」と言葉が登場した。

行政事業レビューではロジック・モデル的な要素が組み込まれているし、  
自治体でもロジック・モデルが活用され始めている。

今回の答申の別紙資料の37ページは、行政評価制度の改善等に関する委  
員から寄せられた意見が集約されている。例えば総合振興計画上で取り組む  
ものと定めている内容が、計画に実行と書いてあるにもかかわらず、ロジッ  
ク・モデルシートに記載されていない事例が目立ったということであったり、  
ロジック・モデルの意図するところが実現されていないと思うとか、ロジッ

ク・モデルの意義が失われ事務量が増えるだけになってしまう。そのような状況が続けばということだが、非常に厳しい指摘もあった。

もしかするとロジック・モデルに関しては、今が正念場かもしれない。このまま何か手を打たなければ、ロジック・モデルという書類を作ることが目的化する、その結果として事務量が増加することになりかねない。

人事異動で組織が新陳代謝され担当者が変わると、ロジック・モデルの意味や活用法が引き継がれない懸念がある。また、外部評価で選ばれた6施策に関してはしっかりとロジック・モデルを作ったり読み込んでいたりするのかもしれないが、それ以外はどうなっているのか、定かではない。

例えば、新規事業を立案するときにロジック・モデルで検討する。予算編成過程で財政課との交渉の際にロジック・モデルをたたき台にして議論する、或いは庁議や政策会議の政策の意思決定の場で積極的に活用していけば、ロジック・モデルがコミュニケーションツールとして、また組織文化として根づいていくと思う。ぜひ市長にはメッセージを発信していただきたいと思っている。

市長

いただいた意見、改善内容について、しっかり庁内で共有し、またこの場でいただいた真摯な意見もしっかり私自身も心に留めたい。また、特に今回は委員長からもロジック・モデルについての厳しい指摘をいただいている。ここについてはしっかり協議の場や全体的な政策立案においても活用していくように、これが共通言語になると良いと思っているが、なかなかそうなっていない。前例や現場から上がってくる情報を元に話をするのが常なのかなと思う。しっかり当たり前を変えていく努力もしていけない。

今回のこの評価委員会の中でも、合っていない指標の設定や、これはその通りだという話が幾つかあった。それを最初に作った時点で私自身も見抜けなかった。そこを恥じている。

次の後期基本計画に向けて、それがないように取り組んでいきたい。また各委員も2年目になるともっと慣れてくるので、違った視点も出てくると思って楽しみにしている。共創企画課もいろいろいただいた指摘を受けとめるだけでなく、広げていかなければならない。事務局はそこもまたすごく大事だと思っている。引き続き皆様から貴重な意見をいただきながら、しっかりPDCAを回していけるように頑張っていければと思っている。本当に感謝

	申し上げる。 3 閉 会
--	-----------------

別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第8回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和7年1月30日(木) 午前9時30分 ~ 午前10時20分
開催方法	501会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹                      副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 青山 裕之                      委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美                      委員 忰田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	吉野部長 清水次長 渡辺課長 石嶋主幹 北田副主幹 薄葉主事
議 題	令和6年度外部評価報告書(案)について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 【資料】令和6年度外部評価報告書(案) 【巻末資料 資料1】答申書 【巻末資料 資料2】戸田市外部評価委員会委員名簿 【巻末資料 資料3】令和6年度戸田市外部評価委員会会議録

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
副委員長	<p>1 開 会</p> <p>(JR線の遅延により、会議途中まで副委員長が委員長の職務を代理)</p> <p>2 副委員長挨拶</p> <p>本日は、前回行った答申に対する市側の検討結果が行動計画という形でフィードバックされる。</p> <p>行動計画では市側に起こる変化が確認できるが、何らかの発見があれば、限られた時間ではあるが議論を行いたい。よろしく願います。</p>
副委員長	<p>3 議 事</p> <p>○令和6年度外部評価報告書(案)について</p> <p>資料に基づき、事務局が説明を行った。</p> <p>各施策の行動計画から事務局の説明においてピックアップがあった項目としては、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>施策1 部局横断性の視点</li><li>施策10 民生委員不足の問題</li><li>施策15 大規模災害・特殊災害に係る指標の設定</li><li>施策21 区画整理等の事業の加速への取組</li><li>施策27 CO2以外の指標の設定、緑化・緑地率等の設定</li><li>施策32 地域の担い手不足解消に向け検討</li></ul> <p>であった。</p> <p>その他にも行動計画として挙げられている項目があるが、意見や質問等はあるか。</p>
委員	<p>各テーマで自分なりの意見を申し上げてきたが、この資料を読み返して行政とは何かという概念の統一が出来ているか分からなかった。組織は分業であり、行政全般を分業的に担っていくのが各部署である。分業という意識を徹底しないと行政の中で意識が分散されて目的意識が曖昧になると感じる。</p>

	<p>各部署が担当する部分を明確にし、実現するという認識があれば、具体的な、事業の実施力も出てくると思う。</p> <p>消防等の専門分野は、分業が徹底されており、役割が明確だが、他は目標がほとんど定性的であり、分業の捉え方が徹底されていないからと考える。その上でこの資料を見ると、例えば「子育て支援の充実」では、「心理的、経済的な問題により、子どもを産み育てることへの不安を抱えている状況を解消し、戸田市で子育てする全ての家庭が、安心して楽しく子育てができることを実感できる環境を整備します。」というのが、行政トータルの目標だ。担当課は自らの役割を意識しつつ、目標を達成するために自分たちはこの分野の業務を遂行するといったところは、事務事業のテーマとして挙がってこないといけないと思うが、それが見えない。皆さんの意見はどうか。</p>
委員	<p>施策ごとの所管課の分業の方向性が見えてこないという意味合いか。どういった観点からその考えに至ったのかを考えながらうかがっていたが、総合振興計画の将来都市像や基本目標、個別の施策が存在しているところ、分業の中でもともとあった組織に総合振興計画の複合的な要素を当てはめたところで無理が生じ、各担当課が総合振興計画の都市像と目標を意識しながら事業を実施できているのかという点で疑義がおりなのだと思っ取った。</p>
	<p>将来都市像と基本目標、その中の施策の各所管課が実施している部分について、個別に回答があり、それは、将来都市像ひいては基本目標を達成するための内容であった。それに沿う沿わないも含め、今まで議論してきた。所管課が行政の果たす役割としてどこに向かっているか分からないという抽象的なニュアンスだと私もどう議論して良いのか分からない。</p> <p>少なくとも私は、総合振興計画のフレームワークや趣旨にのっとった施策があり、そこに適切な事務事業が設定されているかどうかという観点で、外部評価の枠にのっとった評価を行ってきたところであり、出した意見がある程度各部局に影響を及ぼしたと考えている。</p>
委員長	<p>行政組織は分業体制をとってきた。戸田市にかかわらず、一般的に行政組織は、縦割り組織の弊害を指摘されるように、専門化、分業化、細分化をしているが、総合計画の場合、総合行政が必要であり、縦割りではいけない。</p>

	<p>「事業」は予算要求も実施も所管課が明確であるのに対し、「施策」は、主管課と関係課の役割分担があいまいになりがちである。したがって、計画策定過程で施策の目指す姿、現状と課題、施策における成果の状態を測定するのに適切な評価指標等について所管課と関係課と一緒に熟議する必要がある。だが、そのように設定されてきたのか。策定後も進捗管理・評価の段階では、人事異動で担当職員の交代の際にうまく引き継がれなかったり、施策に関しては、事務事業と比較して、自分たちが担当しているという認識（オーナーシップ）がやや希薄なところがある。それらについては、外部評価委員会でも今年度に限らずこれまで指摘してきたところである。</p> <p>そこで総合振興計画のフルモデルチェンジに際し、新たにロジックモデルを導入した。そして、施策を自分たちがマネジメントしていくということや、少なくとも施策をマネジメントしていく組織上の職階としては担当係長ではなく管理職者（次長・課長）である、という位置づけになっている。改善すべき部分はまだまだあると思っており、いろいろ意見を頂戴したい。</p>
委員	<p>そういった観点で行くと、ロジックモデルシートが導入されて、どのように基本目標や、将来都市像に向かっていくかが浸透しきれていないと感じる。どうしても担当課のドライな感じが引っ掛かった。今まで長くやられている委員長と副委員長が感じられてきたことを同様に感じた。</p>
委員	<p>八潮市の道路の陥没の件もそうだが、公共の安全や社会の高機能化は個人が担うものでなく行政の責任だ。行政の力は社会インフラを維持担保していくために必要であり色々な努力がされないといけないのに、結局機能していなかったと感じている。</p> <p>要するに近代社会は分業で成り立っていると考えている。分業を担当するところは機能を果たさないとトータルでの機能を結果的に失ってしまう。その意識が徹底していれば指標の設定や事業の目標は明確にできると思う。</p>
事務局	<p>役割分担という部分で、市は行政組織規則の中で各課が何を所掌するか定めている。それを各事務事業の中で各課が取り組みつつも、施策の中では各課だけではできない部分もあり、部局同士の横の連携も取りつつ進めていく必要があると考えている。</p>

委員	<p>各課は、行政の基本概念を貫かなくてはいけない。それを徹底させるのは共創企画課の役割だ。徹底した分業意識が出てくると行政の本質に向かった事業が掘り起こせるだろう。消防等の極めて特殊な専門分野の担当は、見える形で目的設定が出来ているが、他の分野は不明瞭であると感じている。「美しい」や「幸せだと感じる」や「暮らしやすい」は人の感情であって、その感情を満たすための具体的なものが出てこない事業目的にならないのではないか。</p>
事務局	<p>総合振興計画上は理想を掲げており、それを達成するための具体的な事業をロジックモデルに落とし込んで取り組み、結果、総合振興計画の目標につながっていくという考え方だ。</p> <p>総合振興計画には市の在り方が記載されている。後期基本計画を策定していく中でいただいた意見も参考にしながら市の目指すべきところを明確にして各課各部局が取り組んでいけるよう進めたい。</p>
委員	<p>先ほどの説明では各委員は当然一人一人の立場で評価意見を提起して、評価結果の点数部分は合議して、ランク付けをした。裏を返せば、個々の委員の意見自体の調整はしていないことになり、報告書の意見番号が付され個々に出ることになった。各担当部署に共創企画課から検討の指示が出され、担当部門から返って来たものが意見に対する行動計画となった。</p> <p>ここで質問であるが、返って来たものは各担当部門の話であって、主語が「担当部門」だ。一方報告書に記載される行動計画の主語は「市」だ。そうになると、全体を調整する共創企画課と各担当部門との合作物としての行動計画はどこで読めばいいのか。</p>
事務局	<p>副委員長長の御指摘のように本来であれば合作物とすべきであるが、正直なところ担当部門が作成したものを市のものとして提示している。</p>
委員	<p>意見に対する行動計画では、施策を担当する主たる部局と関係部局が連携する必要があるが、個々の意見に対して個別に設計していったら大丈夫なのか。大事な意見が寄せられて1件ずつ答えると、行動計画としての方向性が</p>

	<p>複数になってしまう可能性があり、事業を実施する市側も大変かもしれない。</p> <p>そのようなことを考えた時に、行動計画、意見とそれに対応する検討の内容が、今2段構成されているが、もう1つ最後の段を追加して最終的な計画を示した方が動きやすいのかもしれない。これが要検討事項だと思っているが、いかがか。</p>
事務局	<p>外部評価委員の意見に対して担当部局を中心に回答して行動計画を作るという形が確かにある。その中で、企画財政部、共創企画課が行動計画を最後にまとめることができればもう少し担当部局と我々も含めて市全体としての考えが示せたと思う。その辺は御意見を踏まえて今後検討していきたい。</p>
委員長	<p>組織上、企画財政部なり共創企画課が他部局より一段上にあるわけではない。原課として事業を担当しているところが、まずは行動計画を着実に進めていく。その上で、個々の行動計画に書かれた内容が市全体で見た場合、あるいは他部局との関連で見た場合で整合が取れないときは、企画財政部が中心として調整することになるだろう。その後、行動計画通り実施されているかどうかの点検はやはり企画財政部が行わないといけない。全体の枠組みをしっかりとグリップして、こちらにもフィードバックしていただきたい。</p>
事務局	<p>この辺は再三意見をいただいているところであり、我々も何とかすべきと思っている。行動計画を実施した結果を外部評価委員会に報告して、また意見をいただけるようなシステム作りを検討したい。</p>
委員長	<p>その他意見や質問等があるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
企画財政部長	<p>今年度も全8回の外部評価において、市の施策を推進に向け御審議いただき厚く御礼申し上げます。</p> <p>今年度いただいた御意見等を参考に、更に効率的な委員会の運営とできる</p>

よう市としても改善していく。

行政はよく縦割りと言われることも多く、分業という観点で見ると専門性はあるが、委員の皆様からも御指摘いただいたとおり、一つの課題を関連する部局で横連携しながら進めていく必要があると感じている。

複合的な課題は組織横断的に解決していくというところを総合振興計画の基本としており、その辺の実際の運用について外部評価委員会でも見ていただき、御意見をいただく中で良い形にしていきたいと考えている。

現在、市では令和8年度から開始する総合振興計画後期基本計画の策定を進めているところであり、市を取り巻く状況の基礎調査、協働会議（ワークショップ）の開催など、色々な分野で今後目指すべきまちの方向性について議論等を行っている。来年度はその進捗等もお伝えししていく。

委員の皆様においては、来年度も引き続き委員として御協力を賜りたい。今後ともよろしく願います。

#### 4 閉 会